研究機関名：下関市立市民病院

研究課題名：開胸心臓手術患者における入院関連能力低下（HAD）と予後の関連
研究期間：西暦 2024 年 7 月 1 日～2024 年 11 月 24 日
対象材料： □病理材料（対象臓器名：　　） □生検材料（対象臓器名　　） □血液材料 □遊離細胞 ■その他（診療録） **上記材料の採取期間：**　西暦 2021 年 4 月～2024 年 1 月
意義： 入院関連能力低下（Hospitalizatio-Associated Disability : HAD）は高齢者や心血管疾患における予後規定因子とされている。開胸心臓手術患者において HAD は 5.2～33.0%に生じるとされているが、予後との関連の報告は限られている。開胸心臓手術後の HAD と予後との関連が明らかとなれば、術前や術後のリハビリテーションプログラムを選択するうえで有益である。
目的： 開胸心臓手術患者における HAD と予後の関連を検討すること。
方法： 当院の患者データベースおよび電子カルテより後方視的に通常診療の範囲内で得られる患者基本情報や医学的情報、治療経過、リハビリテーション経過、退院時の身体機能評価、退院後の全死亡、心不全再入院、全死亡＋心不全再入院の複合、主要心脳血管イベント（MACCE）を診療録より収集する。
個人情報の取り扱い： 患者の個人情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用する。また、研究成果を理学療法関連学会で発表するが、患者様個人を特定できる個人情報は含まない。
問い合わせ・苦情等の窓口： 〒７５０－８５２０ 山口県下関市向洋町一丁目１３番１号 下関市立市民病院　リハビリテーション部　月城　一志 TEL　０８３－２３１－４１１１　　FAX　０８３－２２４－３８３８